

JUNGIDO

滋賀県立膳所高等学校同窓会報

遵義堂

発行人／大崎悦男
 発行所／滋賀県立膳所高等学校同窓会
 大津市膳所 2-11-1
 TEL077-524-4295・FAX077-524-1732
 発行日／平成28年4月20日
 編集人／広報部会・卯田重子
 印刷／株式会社 サンエムカラ

URL: http://www.dosokai.ne.jp/zezekoukou
 E-mail: zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp

VOL.33

『遵義の桜、さらなる開花』

1898 = 高 = 2016

巻頭エッセー	1
平成28年度総会のお知らせ	1
この10年を振り返って 退任にあたり	2
パリでの交換留学を振り返って	2
膳所高校界隈の今	2
石鹿文庫	2
班活動の今昔	3
周年同窓会報告	4・5
記念同窓会報告	5・6
周年記念同窓会 予告	6
同窓会事業のご案内	6
会務・会計報告・総会提出議案	7
膳所高NEWS	8

巻頭エッセー

就任ご挨拶



会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素は本会活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて私こと、昨年の定例総会で、浅田幸作前会長の「ご勇退により会長をお引き受けすることになりました。誠に身に余る光栄と思っております。もとより各界で活躍の同窓生が多数おられる中、同窓会の活動も浅く浅く非才な私のような若輩がと、内心忸怩たる思いがあります。しかし就任しましたからには、卒業生である私は、変革時代の母校の校長職を経験させてもらったこともあり、同窓会や学校関係者の皆様のご支援ご協力を得ることで、誠心誠意、同窓会や2年後に創立120周年を迎えます母校の発展のために頑張る所存です。何卒格別なるご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

校長時代、母校にとってハード・ソフト両面で、大変大きな出来事がありました。一つは、県立高校としては最初で最後となる校舎の全面新築と、他に、通学区が全県一区になるという県の入試制度改革、それに国のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業を申請し指定されたことなどです。そのすべてが任期中に実現しました。

私は昭和40年卒業で、前の校舎で高校生活を送りました。1年の時にプールの竣工式があり、校舎のシンボルにもなっていた天体ドームに望遠鏡が入りました。当時は意識してなかったのですが、私は出来上がったばかりの新校舎で高校生活を送っていたのです。そして半世紀後、校長としてあの思い出の校舎を壊したことになります。入学時は林浩校長でしたが、先生は膳所中学時代の木造校長と、私たちが学んだ新

昭和40年卒業（膳所高13回）

同窓会長 大崎悦男

校舎の二つの校長室を経験されました。恥ずかしながら私も二つの校長室を経験したことになるわけです。

校舎の新築では、最新鋭の望遠鏡が入った天体ドームの整備など可能な限りの校舎のイメージを残すことを意識しました。膳所時代の門柱や校地記等石碑の保存整備、玄関のソテツや中庭の池のベンチも引越しました。工事の騒音等で大変迷惑をかけたのですが、「ピンチをチャンスに」と勝手なことを言って生徒たちを励ましたものです。そして、生徒昇降口に琵琶湖を背景にした地球と校訓を描いた陶板レリーフをはじめ、すべての教室には地球儀を飾るなどして、校訓の「遵義・力行」の精神を忘れず、ここから世界に羽ばたき活躍する人間になって欲しいと叱咤激励したものです。10年経ちましたが母校は、ますます実績を上げ、新しい伝統を創りあげるべく進化発展しています。

私は、卒業後「私」自身のことと精一杯で、母校「私たちの同窓会」については、正直あまり関心が向けられませんでした。そんなことから、今回の会長職拝命には内（同窓会）に対して忸怩たる思いがあるわけです。しかし、40年ぶりに校長として母校に帰り、120年の光輝ある伝統と清純な校風を改めて知ったことで「私たちの同窓会」の一員として、外に対しては矜持をも感じるようになりました。

本会活動は、年々各クラス会や周年同窓会は活発に実施されるのですが、全体としては、年会費の徴収方法、若い人たちの同窓会離れや創立120周年に向けての活動などいくつもの課題があります。これらの課題に会員各位からお知恵をいただき、ますます同窓会活動が活性化され、女性や若い世代にも多数参加していただけるような「私たちの同窓会」にしたいと思っております。今後とも、前会長様のご支援とご協力をお願いして、就任のご挨拶といたします。

新入会員

「かっこいい大人」

平成28年3月卒業 小川竜馬



「多くのことを許せる、丸い人になつてほしい。」卒業式の後の最後のホームルームで、担任の先生がおっしゃいました。膳所高校の三年間で、様々な失敗や成功を経験してきた今だから、先生の言葉は胸にしみました。

少し前までは早く大学生になりたかったが、高校生活の終わりを実感すると、まだまだ高校生でいたいとも思ってしまう。しかしそんなわけにもいかず、私たちは膳所高校から卒業し、次のステージに進まなければならない。大人にならなければならない。私は「かっこいい大人」になりたいと思います。ここである写真の話をさせて下さい。私の1番のお気に入りの写真です。3年生の体育祭のときの、綱引きの決勝戦の様子を取ったものです。私のチームは決勝戦の片方で私は応援担当だったので、私のチームは真剣に勝負して負けたチームの生徒が今度私たちが優勝するよというように、応援してくれました。様々な色のTシャツを着た

本年度の総会は5月15日(日)

平成28年度 総会のお知らせ

滋賀県立膳所高等学校同窓会の平成28年度定例総会を左記の要領により開催いたします。

周年同窓会を始め、班のOB・OG会が多数行われています。卒業後2年目の成人同窓会、関東膳所高校同窓会も軌道にのり、定着してきています。28年度の総会に同窓会員の皆様方のご出席をお願いいたします。

平成二十八年度 定例総会

●日時 平成28年5月15日(日) 午前10時開会
 (午前9時30分 受付開始)

●場所 大津プリンスホテル
 大津市におの浜4丁目7番7号
 電話 077(521) 1111

●感謝状贈呈 本校教職10年勤務者

●議事 一、平成27年度会務報告・部会報告
 一、平成27年度会計報告・会計監査報告
 一、平成28年度事業計画、予算審議
 一、その他

●講演 「納得できる人生を！
 がん患者さんと共に歩んで」

市立長浜病院
 放射線治療センター長
 がん対策推進事業部副管理監
 がん相談支援センター長
 講師 伏木 雅人 氏
 (膳所高22回 昭和49年卒業)

講師のプロフィール



昭和49年 膳所高等学校卒業
 昭和58年 京都大学医学部医学科卒業
 医師免許取得
 同年より京都市立病院、京都大学医学部附属病院、滋賀医科大学附属病院、British Columbia Cancer Research Institute 留学、京都桂病院を経て、平成13年より現職 医学博士(滋賀医科大学)、Best Doctors in Japan 2012-2013、2014-2015

講演の主旨

日本人の1/2が「がん」を主に、①本当は怖くないが②早く見つけると良く治る ③生活習慣で予防も！④それでも、人は死ぬ ⑤人生の総仕上げを納得に ⑥がんどころ⑦楽しいことが病状にもたらずもの ⑧私の専門・放射線治療の現状と明日など分かり易くお話しします。高校時代の吹奏楽班活動とその後にも触れたいと思います。

●懇親会 懇親会にご出席の方は、当日受付にて
 会費6,000円いただきます。

出席のお返事は同封のハガキでお願いします。
 欠席の方及び異動のない方はご返信は不要です。

この10年をふり返って 退任にあたり



昭和33年卒(膳所高6回)
前同窓会会長 浅田 幸作

同窓会会長を昨年5月17日の平成27年度定例総会を以て退任いたしました。5期10年の長きにわたって会長職を務めてこられましたのは、偏に同窓会役員の方々の協力は、偏に同窓会員の皆さまのご支援、ご協力のおかげと感謝しております。ありがとうございます。

顧みずと私が同窓会会長に選任されたのは平成17年5月。同窓会の何の役職を一度も経験せず、同窓会組織の運営については全くの門外漢でした。前任の宇野野会長から突然指名されて何の心の準備もないままでの就任でした。私にとっては青天の霹靂の出来事でした。爾来、10年間の会長職に在る間、常に私の脳裏にあったことは、会長は同窓会関係の知識に富み、組織運営に豊富な経験をもつ者がなるべきとの考えを持ち続けてきました。大崎悦男会長はそれに相応しい方です。ご活躍を期待しております。

在任10年の間にはいろいろなことがありましたが、同窓生の皆さまの母校に対する熱い思いに接し、いろいろな勉強させていただきました。各界で活躍されておられる同窓生に、同窓会総会後のご講演をいただき、また、周年同窓会の場の出会いのなかで伺った貴重な経験談やお話に感動し、大いに感銘をうけました。膳所高校出身者の多才さにあらためて喜びを感じました。

また、職務ながら膳所高校にはいろいろな場面で関係することが多々ありました。そんななかで在校生の活躍の様子を身近に見聞きすることがありました。校風の文武両道に文字通り取り組み、多くの成果をあげております。同窓会としても一般会計に「班活動奨励金」、京大・滋賀医科大学特別講座助成として「学校への助成金」を予算計上しており、生徒たちの日常の学習活動・部活動に役立ちたいと思っております。これらの同窓会活動は、同窓会を具現化するものであります。同窓会会計の収入は皆さまの会費納入により成り立っております。今後とも愛する母校へのお力添えをよろしくお願い申し上げます。

また、皆さまの母校に対する熱い思いに強い印象を受けたことがあります。特に、旧膳所中学校で青春の日々を過ごされた同窓の先輩の方々には、昭和11年制定の校訓「至誠遵義 自主力行」は、学校生活や諸行動の大きな指針であったときいております。その後、新しい校訓「遵義 力行」が制定されました。前の校訓に強い愛着を抱かれており、新校訓制定に関わる経緯やその文言に違和感を抱かれたことは当然のことでありました。でも、新しい校訓は在校生やその後の卒業生に根付き、膳所高校出身者に受け継がれております。

母校の永遠なる発展を願うばかりです。

パリでの交換留学を 振り返って

平成25年卒(膳所高61回)
久末 航

ヨーロッパに渡って早2年半が経とうとしている。月日の流れの速さに驚く一方で、「まだ2年半しか経っていない」という事実を、改めて過ごしてきた一日一日の濃さを思い知らされる。

2015年9月、僕はそれまでの2年のドイツ・フランス・アメリカという枠でフランス・パリへと勉強の場を移した。これは、ドイツ・フランス・スペイン・アメリカなど欧米内で密に提携し合う音楽大学だったが、自校から生徒を送り出したり、他校から生徒を受け入れたりして、半年ないし一年間の交換留学を実施するプログラムだ。僕はこのプログラム内容に納得してより強い興味を抱いていた。音楽や文化を集中して勉強するのに、ドイツはもろん申し分のない環境だが、より広く世界を見て、異なる文化を経験してみたいという好奇心もまた強かった。

ドイツでの大学生活の折り返し地点となる3年目、僕は各種の書類準備や審査を経て、パリ国立高等音楽舞踊学校で交換留学生としての一年間を過ごすことになった。

ドイツとフランス、陸続きの隣国といえど、文化、教育方針、人の気質、街の様相、そのどれもが大きく違う。特にパリはフランスの首都であるだけに、様々な人種や言語がひしめき合いながら共存し、ある種特異な雰囲気醸し出している。観光都市として華やかな顔を持ちながら、その一方で、小路や街の外れに一足踏み込めば、落ち着いた、人影も少なくどこか寂しげなパリの一面が垣間見える。特に、パリの公園や公共庭園などは都会の喧嘩から一線を画した特別な場所だ。そうしたパリの様々な表情を見つけられるのは、その地に住むからこそ見える魅力の一つだろう。

パリ国立高等音楽舞踊学校での生活はとても刺激的だ。一流の教育を求めて、世界中からこぞって音楽を志す若人が集まってくる。13、14歳といったまだあどけない少年少女から、既に音楽家として活動しつづける30歳近い学生まで、その年齢層はたいへん幅広い。バレエ科も併設されており、音楽科とのコラボレーションをはかる授業も存在する。僕自身これに強く惹かれ、バレエの授業の中でダンスの動きに合わせてピアノで即興演奏をさせてという、パリならではの大きな魅力の一つだろう。

変ユニークな授業に参加している。ダンスの体の動きと自分の音楽をいかに同化させるか、いかにしてダンスに拍感を与え音楽で導くのか、現代舞踊・古典舞踊その両方に対してそれぞれのアプローチがあり、普通の即興演奏とはひと味違った面白みや難しさがある。鍵盤を叩いている間も常にダンスを注視し、ダンスと一体でなければならず、集中を要する作業である。

だが、ある意味「音楽の視覚化」ともいえるこの授業から得られるものは多い。リズムそのものもつエネルギーの何と強烈なことか、ピアノの88の鍵盤から描かれる音のパレットのいかに多彩なことか、授業を通じて改めて思い知らされる。それは、ソロとしてピアノを演奏する際にも大きなインスピレーションとなるのは言うまでもない。ダンスによって三次元化される音楽、それをピアノソロの舞台でも音によって表現できれば、聴衆はまるでそこに生きているかのような、臨場感あふれる音楽を感じられるはずだ。バレエのレッスンから得るものを、自分の音楽にも活かしていければと思う。

パリでの留学生活も半年が過ぎようとしている。一年間という限られた時間の中でできるだけ多くの経験を培うためにも、貪欲な姿勢を忘れずにこれからも臨んで行きたい。



膳所高校界限の今

京阪膳所本町駅の改札口から正面のお寺に続く参道には今も玉砂利が敷いてある。現在は敷石も施され、玉砂利も少し小ぶりで普段はおしゃれな鉄門が閉められている。

この参道に接する左側に、かの「大盛り」で有名な美富士食堂がある。大衆食堂とカレンダーにも銘打っておられるだけあって、その店の佇まいは、いかにも今時珍しい感が漂っている。

昭和33年に開店され、現在は息子さんが店主をなさっている。その息子さんに、美富士の名前の由来を聞いてみた。母親の名前が富士子で、父がその名前の上の美の字を付けたのです、と話してくださった。いかにも夫婦仲の良さが感じられる。現在はお二人とも80歳以上になっておられるというところで店には出ておられない。

店内に入り見渡すと、奥の厨房との境に掛けられた時代を感じる暖簾や壁に並んだ黄色く変色した手書きのお品



書きが目に入る。懐かしい笑顔の写真に囲まれて、卒業生たちが幾重にも足跡を付けたであろう黒っぽくなったコンクリートの床に立っていると、数十年前にタイムスリップしたようで、時間の流れさえ変わる気がした。

美富士特製の「大盛り」は、開店当初から、店主が部活を終えてお腹を空かせた生徒達の為に、大盛りのかき氷や焼きそばを提供し続けてきたからとのこと。そしてそれが評判になりひとところは人気を伝え聞いたテレビ局等が多数押し寄せたという。店内のテーブルは昔、3テーブルであったが、今では、奥座敷もあり、13テーブルになった。

初代の「大盛り」の優しさと心意気は、二代目の息子さんに代わっても健在であった。

道路を隔てて美富士食堂の斜め向かいに森商店がある。中に入ると店主が愛想よくイースを勧めて下さった。昔は、おばちゃん、おばちゃん、と言っていて運動部の生徒達が部活の帰りに寄ってくれました、と懐かしそうに話をして下さった。もう米寿ですと言われるが、そのお元気に驚かされる。

現在は、店の前に自販機3台、公衆電話が並び、店先には何種類かの野菜類も売られている。店内にはお菓子などがあり、大きなガラス戸の向こうでは、ひっきりなしに人や車が行きかっていた。最近では自販機やコンビニが出来たことで、立ち寄る生徒達はめつぼう少なくなりました、と話しておられた。

膳所高校界限の今は、まだまだ、風景も人も、十六七、八のあの頃に連れ戻してくれる、何かが残っている。



膳所高卒業寄贈図書「石鹿文庫」	
著者名	書名・巻次(版次)
的場 順三 著	●日本の7つの大問題
いかいゆり子 著	●近江の芭蕉
グスタフ・ベン 著	●葉緑体の変形と定位運動
片岡博尚 翻訳と著	●Jean Leray 99 Conference Proceedings
Naurice de gossin 著	●Pseudo-Differential Operators and related Topics
古谷 賢郎 著	●Partial Differential Equations and spectral Theory
古谷 賢郎 著	●Heat Kernels for Elliptic and Sub-elliptic Operators
古谷 賢郎 著	●Ovidiu Calin 著
川嶋 賢郎 著	●民事訴訟法概説
M ダウンダイ 著	●近江八景の幻影 改訂版
高橋 勉 著	●器官病理学入門
松本 正朗 著	●法令・判例学習のツボとコツ
福本 知行 著	●

卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。
「石鹿文庫」は同窓生の著書を集めた文庫です。

班活動の今昔

ヨット班

昭和38年卒 (膳所高11回)
川端 敏夫

膳所高等学校ヨット班OB会(川端敏夫会長、会員357人)では、このたびヨット班に420級(よんにまるきゅう)ヨット1艇を寄贈しました。

420級ヨットは、前後2枚のセールと追い風のとくに使うスピニングカーセイルを有し、強風時にはトラピーズというマスト上部から引いたワイヤーを使って艇のバランスをとる全長4.2mの2人乗りで、平成27年度から高体連の大会に使用される種目になっていますが、ヨット班にはこの420級艇がなく十分な練習ができなため、今回OB会で寄付を募り、寄贈したものです。

贈呈式と進水式は、平成27年4月12日、ヨット班の艇庫がある大津市柳が崎の滋賀県ヨットハーバーで、OB会会員と現役生徒が出席し行いました。会長あいさつ、目録の贈呈、主将のお礼の言葉に続いて、新艇はさっそく艀装され、風をいっぱい受けて湖に出て行きました。

・艇の価格 1,351,296円 (艇体、セール、付属品、計測料、台車、オーニング、消費税込)



艀装中の420級艇と帆走中の新艇



陸上班

陸上班顧問 宮城 博之

膳所高校陸上競技班、現在班員40名(三年生男子16名女子5名、二年生男子14名女子5名)で、週5日(木日は休養日)という限られた時間で活動しています。平日は2時間半から3時間、休日は3時間程度。ホームグラウンドは、膳所高校第一グラウンドです。練習形式は、全体練習、種目別練習、個人練習とさまざまです。基本的には、各選手の特徴に応じて練習を進めています。練習時間は、他チームに比べ当然少ないです。それでも、より大きな舞台を目指して戦っていくために、密度の濃い練習を追求しています。グラウンドでは、選手・マネージャー・学年・男女の関係なく、高いレベルを目指して活動しています。

チームのコンセプトは、「チーム全体で、より高いレベルを目指そう!」です。そのためには、「自分に克つ!」自分の掲げた目標を達成しよう。もう一つは、「試合に勝つ!」、試合では今までよりレベルの高い結果を出そう。目標の達成!それは、今までの自分に来れなかったことを成し遂げることです。当然、大変なことです。自分一人では厳しいことも、班員全員で乗り越えられることはたくさんあります。

過去3年間の実績では、全国大会には10種目に出場、3種目に入賞しています。近畿大会では9種目に入賞、県内競技会では25種目で優勝者を輩出しています。

陸上競技班一同、競技結果だけでなく、卒業後もさまざまな分野で活躍できるよう、日々、学業、班活動にと励んでいます。応援よろしくお願ひします。



弁論班

弁論班顧問 田井 直樹

近年の弁論班の活動、活躍ぶりを報告いたします。部員不足で一度は休部状態になっていたものを、平成17年夏には「第10回全国中学・高校ディベート選手権」で全国優勝。同第16回大会(平成23年)では3位という成績を収めました。少人数ながら毎年全国大会へコマを進め、ベスト8は常連というクラブに成長することができました。

平成27年度に「第39回全国高等学校総合文化祭(びわこ総文)」が開催される事を受け、県内唯一の弁論班を有する本校が事務局を担当することとなり、弁論班としては「ディベート」に加え、平成24年度より「演説、スピーチ」にも取り組むこととなりました。「ディベート」も強豪と向けた大会運営、及び選手(「弁士」と呼びます)育成にも取り組むという二足、三足の草鞋状態になり、多忙ながらも活気のある班になりました。

平成27年7月、大津市生涯学習センターで開催の「びわこ総文 弁論部門」では、各県の予選を勝ち上がった70名の弁士の中、本校2年生藤倉真美さんが「優秀賞」を受賞。運営面もスムーズに運び、参加者からも好評で、大会を成功裏に終えることが出来ました。秋に行われた滋賀県高等学校総合文化祭弁論部門でも本校生が優勝2位に入賞し、平成28年7月に行われる広島での全国大会に出場を予定しています。

今後も、「ディベート」は再度全国制覇を目指し、「演説」も更なる飛躍ができるよう、生徒の持てる力を十二分に発揮できる活躍の場を提供できる班活動にしてゆきたいと考えています。地味な?クラブですが、活躍をご期待下さい!



びわこ総文 本校生藤倉さんの発表

周年同窓会

70周年記念同窓会

(膳所中43回 昭和20年卒業)

平成27年11月2日(月)発足以来、30回目のクラス会を20年ぶりに当番。地元の瀬田唐橋中之島にある料亭「あみ定」に設定して案内したところ、27名の出席予定が、緊急の欠席3名のため24名となった。

瀬田川を眺めながら、ありし日の遠泳やマラソンの思い出が甦り「石鹿健児意気高し」と校歌を合唱！来年度の当番草津組での再会を約束して散会した。



我々は昭和20年3月繰り上げの4卒203名に、戦後、復学した10名と事情で転校の1名を仲間とし214名で行って来たが、今や不明者をも含め80余名となっていました。

男女共学の進学校として、文武両道に名を馳せている後輩達！傘寿の翁は誇りをもって見守り、母校の更なる進展を祈望するのみである。

(家田 嗣郎)

65周年記念同窓会

(大津高1回 昭和25年卒業)

昨年6月12日(金)、卒業65周年記念同窓会を琵琶湖ホテルで開催し、男子27名、女子38名が出席しましたが、年々出席者が少なくなるのは淋しいかぎりです。小学校(当時は国民学校といた)時代を軍国の少年少女として育った私達は、戦争末期に旧制の中学校や女学校に入学し、2年になって男子は軍需工場に、女子は農村に勤労働員中に敗戦。戦後は食糧難で空腹を抱えながら、耳慣れない民主主義に戸惑いながら、生徒自治会を立ち上げ



たことが懐かしく思い出されます。5年間の中高等教育課程を終えると、新制高校の2年に編入され、はじめて男女共学を経験しましたが、小さいときから「男女七歳二シテ席ヲ同ジウセズ」と教えられた私達は、これにも戸惑いを覚えました。時代に翻弄された私達ですが、それだけに仲間意識が強いのも事実です。これからは動ける者だけでも折りにふれて集まり、旧交を温め、結束を固めていきたいと考えています。

(高橋 勉)

60周年記念同窓会

(膳所高3回 昭和30年卒業)

私達は昭和30年3月に卒業し今年で60年を迎え平成27年10月9日正午より琵琶湖ホテルにおいて卒業60周年記念同窓会を80名の出席を得て開催しました。

当日午前10時よりの母校見学会に24名の参加者があり松宮先生の案内で60年ぶりに訪れた母校を見て学んだ時のことを思いつつ母校を後にしました。正午同窓会の開会宣言の後、物故者となられた同級生のご冥福を祈り黙祷を捧げ代表世話人遠藤糸子さんの挨拶、乾杯



があつて食事タイムに入り卒業後早や60年が経過し私達も80才を迎えようとしている現在まで健康に過ごさし今日同級生と再会できた喜びが多く見られました。時間の経過とともに各テーブルへの移動が始まり共に学んだ時のなつかしいことを語り合い、また現在の自分達のことを語り合い楽しいひとときを過ごすことができました。もつと語り合う時間があればと思いつつ予定の時間となりこれからも各自が健康に過ごすことが出来ることを誓い閉会となりました。

(広田 康雄)

55周年記念同窓会

(膳所高8回 昭和35年卒業)

シルバーウィークの真っ只中、絶好の秋晴れに恵まれた平成27年9月20日(日)に大津プリンスホテルにおいて、昭和35年8回卒業生122名が集い、更に、同窓会会長の犬崎悦男先生と現学校長の草野圭司先生にご臨席いただき、卒業55周年の記念同窓会を開催いたしました。

第一部の式典では、まず国歌と校歌を斉唱し(一年後輩の橋本昭夫氏にピアノ伴奏をお願いしました)続いて、



不帰の人となられた恩師(3年担当の10名のうち9名)と同級生(85名)のご冥福を祈って黙祷を捧げ、その後世話人代表の挨拶に続き、来賓の方々からそれぞれ心暖かなご祝辞をいただきました。

そして、今回は55周年の記念同窓会ということでも、また数年前には古稀も過ぎた我々にとって、最も関心のある「健康づくり」について、同級生の中で、まだ現役の医師として活躍中の西澤明彦君による「快適に余生を送るための健康管理」と題する記念講演があり、出席者の皆が、熱心に耳を傾け「歳をとれば気になるのは健康しかし健康は与えられるものではなく、自らが努力して得られるものだ」という教訓を再認識した貴重な時間でありました。

続いて第二部の祝宴では、遠方より出席の同級生(埼玉県志木市)の乾杯の発声で開宴しました。55年ぶりに顔を合わせるメンバーもいましたが、近況を語り合い、同級生の絆を深めるなど、アツという間の楽しい時間が過ぎていく中で、55年前にタイムスリップした当時の懐かしい出来事を思い起こさせる「クイズ膳所高校」の余興もあり、有意義なひとときでありました。

また、この祝宴中のサブライズで、同窓の「三日月大造滋賀県知事」と「越直美大津市長」がそれぞれ公務多忙の中、わざわざ立ち寄っていただき、心のもつた力強い祝辞を述べていただきました。出席者も思わぬ成り行きで大喜びでした。お二人には、それぞれお忙しい中ご臨席賜り本当にありがとうございました。

最後に皆で、再会を誓う歌「今日の日はさようなら」と「琵琶湖周航の歌」を大合唱し、お開きとなりました。

二次会は別室に移動し、膝つき合わせての語りあいあり、また、カラオケありで大いに盛り上げました。

来年には「後期高齢者」となる我々ですが6時間にも及ぶ宴にも疲れる様子もなく、その元気に只々脱帽でもありました。

次回も、また元気で会いしましょう!!

(伴野 節男)

50周年記念同窓会

(膳所高13回 昭和40年卒業)

昨年の11月1日に、卒業50周年同窓会を、140名の参加者を得て開催することが出来ました。会場を参加者で埋め尽くす中、増田さん、池田君、両名の軽妙な司会で会は進行しました。ただ一人、お元気にご出席下さった久末先生からは「同窓会、昭和は遠くなりにけり」の迷句を交えつつ温かいスピーチを頂戴し、続いて大崎同窓会長の首頭で乾杯、懇親へと移りました。会場の中では、



高校時代のクラス写真、懐かしの校舎、部活動や各種の行事の様子などが壁一面に映し出され、参加者の手元には、カラー刷りのパンフレットも配られ、長い時間の経過を一瞬にして締め、会話を和やかに弾ませる一助となりました。会はずいぶん間もなく時間が過ぎ、二次会、三次会と続き、満たされ、笑い声と笑顔が溢れていました。周年同窓会の今後については、実行委員会、世話役の負担を少なくして、5年後に開催することを確認しました。

(永味 幸雄)

45周年記念同窓会

(膳所高19回 昭和46年卒業)

また新たな物故者が...。この年の6月、くも膜下出血で他界したピアニスト田所政人君。彼への黙とうから、この日は始まりました。40年のときに弾いてくれた「月光」を忘れることができません。

この日は、伏木亨君(龍谷大学農学部教授)に講演をお願いしました。おいしさの正体を脳科学の切り口で追求し続けてきた彼は、平成26年に紫綬褒章を受章しています。わずか30分ではありますが、わが、おいしさの科学のいちばんおいしい部分を聞きかせてくれました。

今回は50周年記念というメモリアルになります。東京オリンピック・パラリンピックに合わせた2020年開催を決めました。

(長田 忠)

40周年記念同窓会

(膳所高23回 昭和50年卒業)

「あれから40年」は漫談家綾小路きみまろの有名なフレーズだが、1975年(昭和50年)に膳所高を卒業した私たちも、まさしく「あれから40年」の長い年月を経





て、2015年5月4日、琵琶湖ホテルに集った。卒業後5年毎に開催してきた同窓会も今回で8回目を迎え、恩師5名、同窓生141名が参席した。今なお敬愛してやまない恩師の暖かな言葉に感動し、一献傾けながら懐かしい旧友たちとの会話は尽きることがない。この40年の間、同窓生ひとりひとりそれぞれのライフヒストリーがある。同窓会はそれを確かめ合える至福の時間でもあった。翌日、近江の国をこよなく愛した作家司馬遼太郎の名著「街道をゆく」にある「湖西のみち」を訪ね歩く企画に11名が参加した。六太の石積み、白髭神社、中江藤樹記念館などを旅し、改めて滋賀の歴史の深さや自然の豊かさを思い知った。

あと僅かです。還暦を迎える。「還暦同窓会をやるう！」という声も多く、今年その準備に入る。そして「あれから45年」の次回、同窓生達はどんなライフヒストリーを積み重ねているのか、楽しみだ。

(姜 永根)

35周年記念同窓会

(膳所高28回 昭和55年卒業)

同窓会前日の平成27年8月14日(金)、27名の有志がジャパンクラシックの集い、記念のゴルフコンペを実施しました。結果、ネット5打のうちに10名が競うという熾烈な戦いのなか、41・46のグロス87で、村尾俊道君が見事優勝を果たしました。県外から12名の参加を得たいへんな盛り上がりでした。

そして、翌日の15日(土)、恩師の先生方7名、同窓生113名が琵琶湖ホテル瑠璃の間に集い、同窓会の宴が盛大に行われました。稗方一司君、上原由美さんの司会のもと、コンペ優勝の村尾君の乾杯で幕が上がりました。

今回の同窓会は、われわれが50歳半ばで、社会人としてもほぼ終盤を迎えようとしているなかでの貴重な会でありました。さまざまな分野で活躍している人々が分け隔てなく語り合っている様子をみて、同窓会は他とは違

う貴重な催しだと改めて実感しました。

催しのあと、出席者からは、「たくさんのクラスメートが集まったことをうれしく思い、また、たくさんの元氣とやる気をもらえました。」「前回の30周年からの5年間で年齢が上がった分みんないろいろあると思うのですが、『変わらないね』という言葉に集まることにありがたみを感じます。」といった言葉ももらいました。

今回の同窓会も、われわれにとつて、たいへん有意義なものでありました。次回は、卒業40周年になるでしょうか。その時は、60歳定年間近！第二の人生の夢を大いに語り合う場になることを楽しみに、人生頑張りましょう！

(布施 健次)



30周年記念同窓会

(膳所高33回 昭和60年卒業)

平成28年1月2日(土) 琵琶湖ホテルにおいて、昭和60年卒30周年記念同窓会を開催しました。9名の恩師の先生方にもご臨席いただき、同窓生121名の出席者を得て盛会となりましたこと報告いたします。

10周年に初めて開催して以来、5年毎に開催する周年同窓会は今年で5回目になります。50歳という人生の節目を迎える年代になり、健康に関する話題も増えてまいりました。恩師の須田武志先生が30周年のお祝いにとステージで腕立て伏せを30回披露くださったことには驚きとともに元氣をいただきましたように思います。素敵な50代を過ごせるように意識を持ち続けたいですね。

同窓会のご案内の届いていない方、連絡先変更の方などおられましたらお世話役宛メールでご連絡ください。次回は2021年1月開催予定です。

同窓会の開催にあたり澤博史、智子夫妻、中江法子(nonchi@bn



ifty.com)さんに多大なるご尽力いただきましたこと心より感謝いたします。

(堀井 美香)

10周年記念同窓会

(膳所高54回 平成18年卒業)

平成28年1月2日、琵琶湖ホテルにて卒業10周年記念同窓会を開催しました。年始の大変忙しい時期でしたが、恩師の先生方5名を含め、総勢140名程の方々に参加していただきました。

数年に一度の学年全体同窓会、楽しみにしてくださっている方が非常に多く、今回も受付時から久々の再会で会話に花が咲き、開宴前からあちこちで楽しい声が聞こえていました。今回も恒例である、3年生の時のクラス対抗によるクイズ大会を実施しました。今回は参加していただいた先生方から、1問ずつ問題をお願いしました。さすが先生方、「皆勤賞の人数は何人だったでしょう」など、どの問題も非常に良問で、非常に盛り上がりがあったことが強く印象に残っています。

会の終盤には、各地域で膳所高会を開きつかけにしたいと思ひ、現在住んでいる地域ごとに集まって交流する時間を作りました。この時間が好評で、たくさんの方に喜んでいただきました。

会全体を通して、参加者のよい表情が見られ、幹事一同大変嬉しく思っています。同窓会開催にあたって、多くの方々に協力していただいたことに感謝いたします。また、素晴らしい仲間に出会えたことに感謝し、この絆を今後も大切にしていきたいです。次回の記念同窓会での再会も、楽しみにしています。

(花田 遥平)



5周年記念同窓会

(膳所高59回 平成23年卒業)

2016年1月3日にホテル京都グランヴィアにて、卒業5周年記念同窓会を開催しました。正月の三日という多忙な時期にもかかわらず、250人の同窓生が集まり、10名の恩師の方々にご臨席いただきました。

会は1.2年次学年主任の吉川先生の挨拶で始まり、成人式後に行った前回の同窓会から3年、卒業式からはすでに5年の月日が流れておりますが、一度話をす



きも、変わらぬ笑顔で、元気に会いたいものです。

(植村 和也)

記念同窓会

尚齒会

(膳所中39回 昭和16年卒業)



母校へ寄贈した金木犀の香りが漂う好季節。例年の通り総会を開いた。

出雲の国からの出席もあり、本年は特に戦70年という節目と重なり盛会となった。

話題は戦況極めて厳しい最中へと広がり、生死の境を彷徨い、戦友の屍を乗り越え、第一戦に進んだこと等々鮮やかに甦り、語る言葉にも一段と弾んでくる。

時の経過も忘れ互いに話は閑になり何時終わることも知れず、一泊の会にすればよかった。

再会を約して散会した。

(谷 直光・長谷川 良治)

膳所高九回卒業会

(膳所高9回 昭和36年卒業)

平成27年11月28日正午より3時まで、東京の英国風「HUB新橋店」を借り切って、三回目の同窓会を開催しました。

関東一円には、約70名の昭和36年3月卒業の仲間が居ることが分かり、3年前の平成25年1月から1年半置きに開催しています。

今回も20名の参加があり、イギリスのギネスビールやエールを傾けて、談話風発の楽しい宴会となりました。

今回初参加の金田洋一郎氏は、茨城県にガーデンを持ち、自ら花卉を育てて写真を撮り、ネットで紹介したり、花や草木の写真集・図鑑を数多く著している写真家ですが、新刊書を手に参加されました。

例年ですと、関西方面からの参加もあり、一層にぎやかになります。

初回は、東京丸の内オイスターバーで牡蠣料理を、二回目は大手町の和風レストランで、雰囲気バラエティを、賑やかに、気軽に参加できる予算で、工夫を凝らしてきました。

今回は、横浜に場所を変え、近くのローズガーデンで満開の薔薇を楽しんでから宴会を企画しており、新しい会場での再会が楽しみで。

今回の会場は、写真にありまますように、イギリスの酒場のイメージそのまま、加齢と共に、年々喧しい会合となっていくようで、幹事一同喜んでいきます。

(中嶋 賢二)



膳所高二十回卒業会

(膳所高20回 昭和47年卒業)

京の五山に送り火が灯る8月16日、琵琶湖ホテルで卒業43周年の同窓会を三年ぶりに開催。百人を超す参加者で大変賑やかな会となったが、恩師のご出席が八木敏雄先生お一人となったことが淋しく感じられた。

今回は細部に工夫を凝らし、まず前半は1年の、後半は2年のクラスで着席することでより多くの友人と話し話を花が咲いた。出席者全員による30秒スピーチでは、タイムアップを知らせるベルが無情にもチンと



鳴った時のリアクションに爆笑。そして卒業アルバムからコピーした各自の43年前の写真付名札は、席替えのために各学年のクラスも明記された、世話人Y君渾身の作品だった。還暦を過ぎ、肩の力が抜けて日々を楽しんでいる皆の様子が大変印象的であった。

最後に、今回は65歳までという声が上がりました、楽しく同窓会は幕を閉じた。(三十木 和子)

成人記念同窓会

(膳所高62回 平成26年卒業)

去る1月11日成人の日、恩師の先生方6名をお迎えして、総勢385名という大人数で同窓会を行いました。385名という参加者の数は、私たちの学年の仲の良さをよく表しているように感じます。学年主任の佐野先生の御挨拶と乾杯の御発声で開会しました。男性はスーツ、女性は振袖やドレスに身を包み、成人ということでお酒を片手に懐かしい友達や先生と談笑し、会場は終始華やかな雰囲気のまま進んでいきます。会の途中には、かつて修学旅行で披露した出し物を高校時代のクラスメイトで集まって再び披露してくれたり、湖風祭での企画を成人記念同窓会版にリメイクして行ったりと高校時代の楽しかった思い出がよみがえり、思い出話にも花が咲きました。そして楽しい3時間はあっという間に過ぎていきました。次の同窓会でも多くの方々にお会いできることを楽しみにしています。(今村 大智)



40周年記念同窓会

(膳所高24回 昭和51年卒業)

日時 平成28年4月30日(土) 午後1時~4時
場所 ホテルボストンプラザ草津
連絡先 糸岡真二(TEL077・568・4110)

35周年記念同窓会

(膳所高29回 昭和56年卒業)

日時 平成29年1月2日(月) 午後1時~
場所 大津プリンスホテル
連絡先 坂下 覚(TEL077・523・2304)

30周年記念同窓会

(膳所高34回 昭和61年卒業)

日時 平成29年1月2日(月) 午後1時~
場所 大津プリンスホテル
連絡先 今村拓也(TEL090・1147・2605)
※各クラスで幹事のお手伝いをしていただける方を探しています。ご一報ください。

10周年記念同窓会

(膳所高55回 平成19年卒業)

日時 平成29年1月2日(月) 午後5時~
場所 琵琶湖ホテル
連絡先 佃亜佑美(TEL090・4282・1513)
植西亮太(TEL080・3800・6824)

5周年記念同窓会

(膳所高60回 平成24年卒業)

日時 平成29年1月3日(火)
場所 リーガルイヤー京都
連絡先 篠崎 陽(TEL090・9122・0865)

新成人記念同窓会

(平成27年3月卒業)

日時 平成29年1月9日(月)
場所 大津プリンスホテル
連絡先 猪飼更紗(TEL080・1469・3791)

関東膳所高同窓会

日時 平成28年6月11日(土) 16時~18時(開場15時30分)
場所 ガーデンレストラン オールディンギング 東京都港区高輪3-13-3 シナガワグース3階 (TEL03・5447・1151)
参加にご興味のおありの方は、kantozeze@gmail.com宛にご連絡を頂ければ幸いです。

関東膳所高同窓会は1928年の発足で、今年で米寿となります。戦前、戦後を通じてほぼ継続的に開かれてきましたが、諸般の事情で開けないこともあり近年では2003年から8年間開けませんでした。そこで役員交代を機に新規まき直しを図り、再出発の第一回にあたる2010年は空前の255人の出席でした。手許の名簿では関東在住の同窓生は約3千人ですが増勢傾向です。そこで同窓会参加者も増えると思っていれば大誤算。2011年は180人、2012年は120人。その後は三ヶヶを確保するのがやっとの減勢傾向です。今年は前述のように6月11日に開きます。場所は品川駅の高輪口の真正面に見える旧パシフィックホテルの3階です。詳細は未定ですが、会費は9千円以内にとらえます。奮ってご参加ください。(関東膳所高同窓会・会長 長崎和夫)

同窓会事業のご案内

◆第21回(平成28年度)ゴルフコンペ

と き 平成28年9月19日(月・祝)
ところ マイプルヒルズゴルフクラブ 甲賀市信楽町田代65
TEL0748・82・3800
スタート時間 8時00分アウト・イン同時スタート
申込×切後各自あて集合時間及び組み合わせ表を追って通知します。
ダブルペリア方式による18ホールストロークプレー
当日会費 18,000円(予定) 但しシニア・シニアは別料金
募集人数 30組 150名
定員に達し次第×切とします。

初夏の会員交流会

「戦後70年滋賀県平和祈念館」を訪ねて
平成28年度事業として、会員交流会を企画致しました。初夏の一日、同窓相集い、交流が深められれば幸いです。ふるってご参加ください。

日時 平成28年6月25日(土)
9時20分JR近江八幡駅南口(国道側)
16時30分JR近江八幡駅解散予定
お和祈念館で研修 西の湖 水郷めぐり
内容は近江八幡休暇村にて

・ 募集人数 最小開催人数36名
お申し込み 詳しい内容は先着順は、お早目に同窓会事務局まで(最終締切6月4日お尋ねは、お早目に同窓会事務局まで) (TEL077・5224・14295 FAX077・5224・1732)

事業部報告

第1回会員交流会in嵯峨野・嵐山(参加32名) 快晴
八つ橋手作り体験では皆童心に返り大はしゃぎ、昼食の乾杯は昭和20年中学卒の方にお話し、学年の幹事を兼ねたグループ等もあり、大いに盛り上がりました。嵯峨野ではソフクリーム片手に年を忘れ、思い出に楽しめました。
第20回ゴルフコンペ(参加146名) 晴れ
優勝 昭和36卒 藤井さん、団体優勝 昭和36卒。
今年には昭和30年卒からの参加を得、朝早くからプレー、疲れも見せず夕刻から表彰式と懇親会、石鹿健児ここに有りました。

滋賀県立膳所高等学校同窓会

年会費納入のお願い

平成28年度会費を同封の振替用紙にてご納入いただきますようお願いいたします。振替用紙が入っていない方は会費納入は不要です。

ご理解と協力をよくお願いいたします。

会費は年額2,000円となっておりますが、5年(10,000円)、まとめてご納入いただければ幸いです。

〔納入機関〕 郵便局 01010-3-30378
(振替用紙は共通です。) 銀行 滋賀銀行本店 普 913381
関西アーバン銀行 ひわご営業部 普 335940

いずれも名義は、滋賀県立膳所高等学校同窓会 会長 大嶋 悦男 です。
※新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみで、卒業後5年目から会費納入をお願いしています。
※ご住所等に変更がある場合は振替用紙にその旨をご記入下さい。(総務部会)

平成27年度同窓会会務・会計報告・平成28年度同窓会総会提出議案

◆平成26年度 同窓会会務報告

2015年(平成27年)

- 4月 20日 JUNGIDO第32号発行(26,819部発送)
- 22日 平成26年度同窓会会計監査
- 5月 4日 昭和50年卒40周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 150名参加
- 10日 昭和32年卒喜寿記念同窓会(ピアンカ)
- 16日 関東膳所高同窓会(ガーデンレストラン オールディダイニング)
- 17日 昭和48年卒還暦記念同窓会(琵琶湖ホテル)
- 17日 平成27年度同窓会総会(琵琶湖ホテル) 179名参加
- 6月 6日 陸友会総会・講演会(あたか飯店)
- 12日 昭和25年卒65周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 65名参加 野球部総会(セミナーハウス) 20名参加
- 20日 役員・教職員歓迎会(あみ定) 14名参加
- 7月 11日 第1回会員交流会(嵯峨野・嵐山) 32名参加
- 8月 15日 昭和55年卒35周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 120名参加
- 16日 昭和47年卒同窓会 100名参加
- 9月 19日 昭和46年卒45周年記念同窓会(大津プリンスホテル) 75名参加
- 20日 昭和35年卒55周年記念同窓会(大津プリンスホテル) 122名参加
- 21日 第20回ゴルフコンペ(メイプルヒルズゴルフ倶楽部) 146名参加
- 10月 9日 昭和30年卒60周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 80名参加
- 13日 昭和20年卒70周年記念同窓会(あみ定)
- 17日 同窓会広報部会(第1回) JUNGIDO第33号編集会議

- 11月 1日 昭和40年卒50周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 140名参加
- 2日 昭和29年卒東二同窓会(ロイヤルオークホテル)
- 12月 3日 同窓会役員会(6名)

2016年(平成28年)

- 1月 2日 昭和60年卒30周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 130名参加
- 2日 平成18年卒10周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 140名参加
- 3日 平成23年卒5周年記念同窓会(ホテルグランヴィア京都) 260名参加
- 11日 平成26年卒新成人記念同窓会(大津プリンスホテル) 385名参加
- 23日 同窓会広報部会(第2回) JUNGIDO第33号編集会議 吹奏楽班OB演奏会(大津市民会館)
- 2月 13日 同窓会広報部会(第3回) JUNGIDO第33号編集会議
- 26日 同窓会役員会(15名)
- 27日 同窓会広報部会(第4回) JUNGIDO第33号編集会議
- 29日 同窓会入会式 427名
- 3月 1日 第64回膳所高等学校卒業式(平成27年度)
- 4日 昭和35年卒同窓会(ホテルボストンプラザ草津)
- 6日 昭和41年卒50周年記念同窓会(大津プリンスホテル) 同窓会広報部会(第5回) JUNGIDO第33号編集会議
- 26日 同窓会理事会(アヤハレクサイドホテル)
- 26日 同窓会広報部会(第6回) JUNGIDO第33号最終校正
- 27日 石鹿会(通信制)記念同窓会(琵琶湖ホテル)
- 31日 同窓会平成27年度 会計閉鎖

◆平成27年度 同窓会会計中間報告(H27.4.1~H28.2.29)

一般会計 《収入の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
前年度繰越金	1,614,010	1,614,010	0	
前受会費(27年度分)	3,902,000	3,904,000	△ 2,000	会費会計より振替
平成27年度会費	3,780,000	3,862,000	△ 82,000	会費会計より振替
同窓会入会金	1,300,000	1,281,000	19,000	
特別(名簿)会計より繰入	1,000,000	1,000,000	0	
雑収入	100,000	44,599	55,401	受取利息、ブックジョナル代等
合計	11,696,010	11,705,609	△ 9,599	

《支出の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
総 会 費	720,000	503,331	216,669	
会 議 費	250,000	85,394	164,606	理事会、役員会
交 際 費	50,000	5,160	44,840	
通 信 費	650,000	610,506	39,494	総会・理事会はがき等
旅 費 交 通 費	100,000	15,200	84,800	役員会、関東同窓会出席他
支 払 手 数 料	250,000	223,129	26,871	会費納入、振込手数料
雑 給 与	1,300,000	1,188,420	111,580	
コンピュータ関係費	70,000	42,120	27,880	メンテナンス
ホームページ運用費	150,000	150,000	0	更新他
事務用品費	120,000	66,805	53,195	コピー用紙他
備品・消耗品費	260,000	104,114	155,886	コピーチャージ料他
広報発行費	1,030,000	963,251	66,749	32号発行
広報発送費	2,200,000	2,037,250	162,750	広報封入封緘、郵送料他
学校助成金	1,000,000	1,000,000	0	京大特別講座助成他
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	0	全国大会参加助成他
慶 弔 費	150,000	240,268	△ 90,268	永年勤続祝、お悔み
周年同窓会祝い金	460,000	490,000	△ 30,000	
各部会費	800,000		92,877	
広報部会費		11,000		
事業部会費		571,985		ゴルフコンペ、会員交流会
総務部会費		124,138		会費納入依頼再発送代
予備費	1,036,010		1,036,010	
合計	11,696,010	9,532,071	2,163,939	

差引現在残高 2,173,538 (11,705,609-9,532,071)

会費会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前受会費繰越金	9,600,000	26年迄の前受金
平成27年度会費	3,862,000	当年度分
前受会費	3,757,000	28年以降の会費
合計	17,219,000	

《支出の部》

項目	金額	備考
平成27年度会費	3,862,000	当年度分の会費
平成27年度分前受会費	3,904,000	26年迄の前受金から
合計	7,766,000	

差引現在残高 9,453,000(17,219,000-7,766,000)

一般及び会費会計現在残高 11,626,538

一般会計現在残高 2,173,538 + 会費会計現在残高 9,453,000 = 11,626,538

名簿会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	6,147,910	定額2,500,000 普通3,647,910
名簿売上金	20,000	
利息	1,074	4/14(定期利息), 8/7, 2/12
合計	6,168,984	

《支出の部》

項目	金額	備考
残高証明手数料	324	4/2
一般会計へ振替	1,000,000	12/18
合計	1,000,324	

差引現在残高 5,168,660

平成28年度 事業計画(案)

同窓会員相互の交流、親睦と教養の向上を図るとともに、その一環として母校に対する支援・協力の諸事業を行います。特に2年後の創立120周年に備えて、財政基盤と組織の強化を図り、母校の事業等に協力していきます。

平成30年5月に発刊を予定している「会員名簿」の準備をまいります。

- 総務部会 定例総会・理事会を開催、役員会等が必要に応じて開催します。母校との連絡・協議を積極的に推進するとともに、各部会への協力、支援を行います。
- 広報部会 母校の情報発信や同窓生相互の交流を図るため、年1回ではありますが、同窓会報紙「JUNGIDO」を発行します。充実した紙面作りに努めます。

- 事業部会 総会時の講演会・懇親会の開催、各学年周年同窓会への協力、ゴルフ大会、研修旅行等の交流会の開催を通じて同窓会活動の活性化に努めます。
- 事務局 年会費の徴収、年会費未納者への督促地域、職域の組織づくり、各クラブOB会の支援

ホームページアドレス
<http://www.dosokai.ne.jp/zezekoukou>
 メールアドレス
zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp

特別会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	683,384	
寄付金	10,000	昭34卒 故村上英甫氏ご遺族より
利息	114	8/7, 2/12
合計	693,498	

《支出の部》 残高証明手数料 324
 差引現在残高 693,174

◆同窓会財産目録(H28.2.29現在)

I 一般会計及び会費会計 合計

- ◇郵便局
 - 定額貯金 1口 6,022,000円
 - 郵便振替 1口 1,852,532円
 - 郵便貯金 1口 1,034,756円
- ◇滋賀銀行
 - 本店 普通預金 587,327円
 - 膳所支店 普通預金 1,935,217円
- ◇関西アーバン銀行 びわこ営業部 普通預金 122,352円
- ◇事務室現金 72,354円
- 計 11,626,538円

II 特別会計

- ◇滋賀銀行 膳所支店 普通預金 693,174円
- 計 693,174円

III 名簿会計

- ◇滋賀銀行 膳所支店 定期預金 2,500,000円
- 膳所支店 普通預金 2,668,660円
- 計 5,168,660円

同窓会役員(平成27年~28年度)

役職	氏名	生年(歳)	役職	氏名	生年(歳)
部会長(総務)	東郷 重明	昭和42年(膳15)	会長	大崎 悦男	昭和40年(膳13)
同(事業)	山本 勝義	昭和48年(膳21)	副会長	松村 文夫	昭和36年(膳9)
同(広報)	卯田 重子	昭和43年(膳16)	同	護法 良憲	昭和46年(膳19)
顧問	今市 信夫	昭和28年(東1)	同	山本 勝義	昭和48年(膳21)
同	小西 英太郎	昭和32年(膳5)	同	黄瀬 誠幸	昭和41年(膳14)
同	浅田 幸作	昭和33年(膳6)	同	眞野 義一	昭和33年(膳6)
同	奥村 弘史	昭和48年(膳21)	同	林 典子	昭和53年(膳26)
同	仁科 守博	昭和47年(膳20)			

第64回卒業式



平成28年3月1日、冬に逆戻りしたかのような小雪が舞う中、本校体育館において第64回卒業証書授与式が行われた。誇りと希望を胸に、普通科388名、理数科39名、計427名の生徒が、新たに膳所高等学校から旅立った。

式典は、大崎同窓会長をはじめ、東郷同窓会総務部会長、元校長の浅田先生、瀨田先生、父母教師の会の澤会長、中田副会長、今村副会長、また、成田県議会議員を来賓に迎え、在校生（2年生全員、1年生各クラス代表2名）、教職員とともに、多くの保護者の出席のもと盛大に挙行された。卒業証書は、クラスごとに担任が卒業生徒を呼名した後、草野圭司校長からクラス代表に手渡された。草野校長は、式辞の中で、「諸君は、膳所高校で学んだことよって、社会において、自分の心で感じ、自分自身で判断し、他者を認め、協力して、自分の考えに基づいて生きていく力を備えることができたということ、を、忘れないでほしい。健康に充分気をつけ、豊かな感性を發揮し、大いなる主体性をもとに、世界に羽ばたいてください。」など、卒業生に期待したいことを述べられ、激励された。

「卒業生の言葉」では、代表の宇都宮慶紀さんが、三年間の学校生活を振り返り想い出を述べ、在校生、先生、家族そして仲間への感謝の思いとともに、将来社会人となり世界に目を向け、自らの役割を見いだしていくと決意を力強く語った。

その後、卒業生は、池内奏音さんの伴奏のもと全員で「旅立ちの日に」を合唱し、会場の皆さんの大きな拍手で見送られ会場をあとにした。

また、これに先立ち2月29日には、同窓会入会式が行われた。同窓会入会式では大崎会長がお祝いの言葉を贈られ、卒業生を代表して小川竜馬さんが「入会の言葉」を述べた。東郷総務部会長からは同窓会の活動等について説明がなされた。卒業生の今後の益々の活躍を祈念しています。



班活動報告

2015年度 全国レベルの大会結果

山岳

平成27年度全国高等学校総合体育大会 A隊（男子団体）10位
三反崎隼人、清野幸司、中島拓太、森山一斗
B隊（女子団体）22位
岩淵菜々美、橋本彩、中井庸和、長谷川みなみ

陸上

平成27年度全国高等学校総合体育大会 出場
1500m 辻川 諒
第70回国民体育大会
成年少年男子共通4x100mリレー2位
向山理一朗
少年男子A走幅跳27位
上田浩平

ボート

平成27年度全国高等学校総合体育大会
男子舵手付クオドルブル 7位入賞
森本悠太、小田知明、藤本瑛二、松山拓未、
児玉大貴、谷口浩基、ショーバックジェイコブ英輔
第70回国民体育大会
少年女子舵手つきクオドルブル 準決勝敗退
大城彩華

第27回全国高等学校選抜ボート大会 出場
男子舵手つきクオドルブル 7位入賞
常重文哉、里見 純、児玉大貴、福岡知弥、
大平悠人、船越湧太郎、郷原康司
男子ダブルスカル 14位
ショーバックジェイコブ英輔、種池俊哉、西村雅親
女子舵手つきクオドルブル 12位
高見知里、金綱しおり、中島 悠、勝山奈央、
大城彩華、岡田風紗、岸田朋子
女子ダブルスカル 8位入賞
澤井成美、西村真由、松田裕希

ソフトテニス

平成27年度全国高等学校総合体育大会 出場
大角実聖、光吉一真
バレーボール女子
第70回国民体育大会 出場
菅野由莉

ヨット

第70回国民体育大会
少年男子レーザー級14位 村山航大
少年女子420級27位 藤田陽菜、土倉文子
少年女子レーザー級17位 大崎明果
第39回全国高等学校総合文化祭 滋賀大会
小倉百人一首 かるた部門 ベスト16
池内奏音、石部加奈子、長田 涼、林 菜緒、
長尾知香
第37回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会
（団体戦） 出場
池内奏音、石部加奈子、長田 涼、林 菜緒、
小西亜実、長尾知香、安藤あい、石田みのり

弁論

第39回全国高等学校総合文化祭 弁論部門
優良賞 藤倉真美
放送
第62回NHK杯全国高校放送コンテスト
アナウンス部門 準々決勝敗退
吉井小綯

文芸

第39回全国高等学校総合文化祭 文芸部門
吉野悠紀美、小山佳乃
写真
第39回全国高等学校総合文化祭 写真部門
文化連盟賞 柏 優佳、福井義浩
音楽
第39回全国高等学校総合文化祭 合唱部門
文化連盟賞 松本夕芽、岡本直大
化学、生物、物理化学
第39回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門
文化連盟賞

SSH

第15回日本情報オリンピック
ランクC 加藤大晴
今年も「科学の甲子園全国大会」に出場します。

サクラサク！ 主要大学合格者数

Table listing university names and the number of graduates who passed entrance exams. Includes categories like (国立大学), (公立大学), and (私立大学).

編集後記

一抹の淋しさと共にJUNGIIDO33号をお届けいたします。
去年春32号発行直後、その責任者であった広報部会長の山田勲氏の訃報（事故が元での急逝）が舞い込み、我々部員は大ショックを受け言葉を失いました。山田氏は平成4年の創刊当時から広報部員として、常に「縁の下力持ち」をして下さり、前部会長長谷川氏亡き後は、デザインのプロであった氏と素人（山田氏自称）の自分を謙遜に受け止めて下さった任を継いで下さり、生来の温厚な性格と弛みない努力によって、前任者に一歩も引けを取らない立派な部長として我々を引っ張って下さいました。
野球部OBでもあった彼は、その話になると大きな目を輝かせ白い歯むきだしの笑顔で熱弁を振るわれるのですが、自分が編集長であるJUNGIIDOに野球部の記事を書くことだけは頑なに遠慮され、その度を越した気配りは傍で見ていて少し滑稽でもありました。
山田さんは数年前から長野県松本市にお住まいでしたが、会合にはいつも一番に出席し下準備して待っていて下さるの、時折それを忘れておりました。母校膳所高校の為にどれだけ高速を車で走って下さっていたのか、今更ながら頭が下がっていると思います。
秋には野球部OBに広報部が招かれての「山田さんを偲ぶ会」も終わりました。創刊当時の広報部員はもはや2名ですが、卵田重子新部会長の下、新しいメンバーと共にJUNGIIDOをお届けしていきたいと心を新たにしております。どうぞ今後とも宜しくお願い致します。

- 上野滋子（東2）・浅田幸作（膳6）・松村暢江（膳10）
東郷重明（膳15）・卵田重子（膳16）・藤原陽子（膳16）
新川均（膳16）・岡澤則子（膳26）・堀井美香（膳33）
仁科守博（総務）